



2023年4月12日

各 位

会 社 名 株式会社広済堂ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 黒澤 洋史  
(コード：7868 東証プライム市場)  
問合せ先 経営戦略本部  
上席執行役員 常盤 誠  
電 話 (03)3453-0557

## 新セグメント立ち上げ並びに新中期経営計画の策定状況に関するお知らせ

当社は、以下のとおり、新セグメント立ち上げ並びに新中期経営計画の策定状況についてお知らせします。

### 1. 新セグメント立ち上げの趣旨

当社の連結子会社の株式会社東京博善（以下「東京博善」という）は、東京都内で6カ所の総合斎場（式場を併設した火葬場：町屋、落合、代々幡、四ツ木、桐ヶ谷、堀ノ内）と、1カ所の保棺施設（365日体制の保棺室を完備：お花茶屋会館）を運営しております。

火葬事業は公益性が高く、非営利性と永続性並びに安定性が求められる事から経営実態を明確にするために、式場の提供や葬儀のプランニング等の利益成長を担う事業とは区分し、葬祭セグメントを2つに区分することといたしました。

火葬事業を葬祭公益セグメントとし、その他の利益成長を担う事業を葬祭収益セグメントとして開示して参ります。

一方、2022年5月に公表した「中期経営計画2.0」において「シニア・エンディング ナンバー1企業」を目指すことを宣言し、現在に至るまで東京博善を中心としたエンディング領域におけるさまざまな新規事業を企画してまいりました。

その1つとして、2022年に設立した東京博善あんしんサポート株式会社は、総合斎場にご来場されたお客様を対象に、相続に関する手続きのサポートを中心としたコンサルティングビジネスを展開しながら、本格的な金融・法務サービス事業への準備を進め、同セグメント内で小規模に展開しておりましたが、この度、長期的な事業の成長と収益化の目途が立ったため、「資産コンサルティング」として新たなセグメントを立ち上げることといたしました。

よって、当期から5つの事業セグメントで事業を推進してまいります。

### 2. 2024年3月期以降のセグメント

セグメント名	事業内容
資産コンサルティングセグメント（新設）	金融・法務サービス
葬祭公益セグメント	火葬場の運営
葬祭収益セグメント	葬儀式場の提供、葬儀のプランニング 等
情報セグメント	印刷、BPO、ITソリューション 等
人材セグメント	求人媒体、人材派遣、人材紹介 等

### 3. 新中期経営計画について

当社グループは、2023年3月期より収益構造をいっそう拡大させ安定成長を図るため、「中期経営計画2.0(2023.3-2025.3)」を策定しましたが、下記理由により計画数値を修正します。

- ・同計画の2024年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益目標を2023年3月期に前倒して達成したため
- ・同計画で織り込まれていない収益性が高い葬儀式場の増設分の数値を反映させるため
- ・金融・法務サービス事業の収益化の目途が立ち、資産コンサルティングセグメントの新設に至ったため

つきましては、2024年3月期を初年度とした新たな3カ年計画の中期経営計画を2023年5月12日に開示すべく策定を進めておりますが、本開示にて新セグメントのお知らせをすること並びに本日「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」を開示した事に伴いまして、現時点での策定状況についてお知らせするものであります。

なお、詳細は添付の資料「広済堂ホールディングス 新セグメント立上げ並びに新中期経営計画策定状況[中間報告]」をご参照ください。

以上



広濟堂ホールディングス  
新セグメント立ち上げ  
並びに  
新中期経営計画策定状況 [中間報告]

証券コード：7868

2023/4/12

# 0 目次

---

- |   |                                                                                                                                                                                  |       |
|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 1 | 2023年3月期業績予想                                                                                                                                                                     | P. 2  |
| 2 | 新セグメント立ち上げ <ul style="list-style-type: none"><li>・立ち上げ背景</li><li>・資産コンサルティング事業概要</li><li>・資産コンサルティング事業計画</li></ul>                                                               | P. 4  |
| 3 | 新中期経営計画策定状況 <ul style="list-style-type: none"><li>・中期経営計画3.0の概要（利益面）</li><li>・中期経営計画2.0との比較</li><li>・営業利益増減イメージ 2024年3月期の前期対比</li><li>・営業利益および当期純利益 推移</li><li>・全体資金計画</li></ul> | P. 8  |
| A | ご参考資料（会社紹介）                                                                                                                                                                      | P. 15 |

1

## 2023年3月期業績予想

# 1-01 2023年3月期 業績予想

## 修正の理由

第4四半期の業績では、葬祭セグメントを中心に堅調に推移。特に情報セグメントの利益面において改善が図れたことから修正

(単位：百万円)

	前回発表予想 (2023年2月10日発表)	今回修正予想 (2023年4月12日発表)	前回発表予想比		(ご参考) 前期実績
			増減	増減率(%)	
売上高	36,620	<b>36,620</b>	0	0.0	35,361
営業利益	4,130	<b>4,250</b>	120	2.9	3,729
経常利益	4,000	<b>4,150</b>	150	3.7	3,610
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,850	<b>4,000</b>	150	3.8	3,643

2

## 新セグメント立ち上げ

## 2-01 新セグメント立ち上げ | 背景

### 中期経営計画 2.0 の 実行状況

上昇要因

式場事業のポテンシャルを見出す

低下要因

葬儀事業の利益率と事業拡大スピードを過大評価



上昇要因の“式場事業のポテンシャル”が低下要因を上回ったことで

新たな「中期経営計画 3.0」では上方修正の目標数値を示す

+

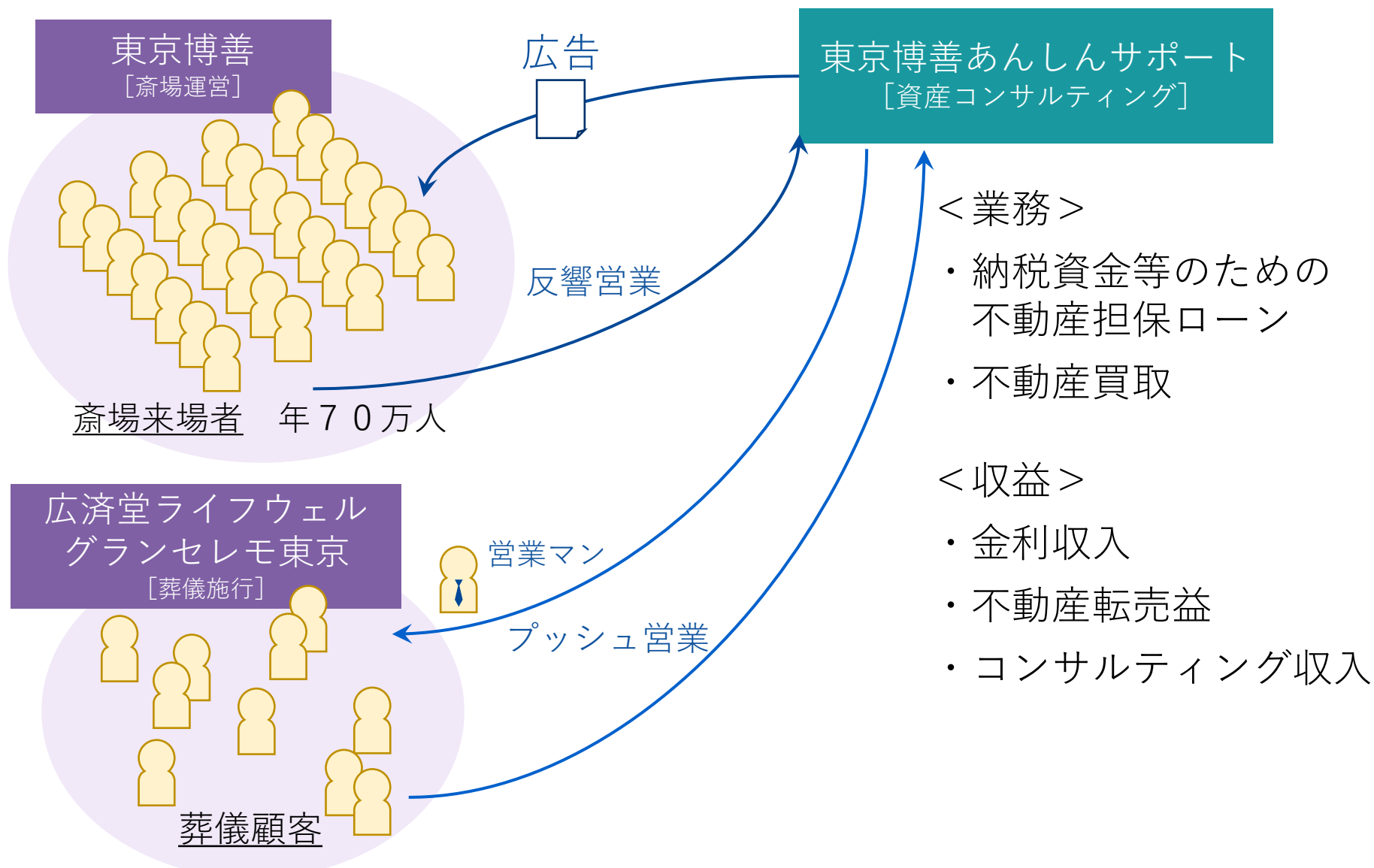
式場事業の拡大による成長の上限が見えてきた為

更なる今後の成長戦略として、相続にまつわるコンサルティングを中心とした

「資産コンサルティングセグメント」を独立させ拡大する



## 2-02 資産コンサルティング事業 | 概要



## 2-03 資産コンサルティング | 事業計画

(単位：百万円)

	'23.3	'24.3	'25.3	'26.3
貸出金額	0	5,000	5,000	10,000
不動産投資残高	0	5,000	5,000	10,000
セグメント粗利	0	268	500	1,000

ステップ① 安定した案件の確保 ▶ ステップ② 流動化と運用の拡大

新中計3.0においては「ステップ①」をまずは織り込む

# 3

## 新中期経営計画策定状況

### 3-01 中期経営計画3.0の概要（利益面）

式場増設等での成長GOAL

(単位：億円)

	'23.3	'24.3	'25.3	'26.3
営業利益	42	63	74	77
安定的 当期純利益	40	43	51	53
新規 資産コンサルティング 営業利益	0	3	5	10+α
当期純利益 計	40	45	55	60+α
目標時価総額	800	1,000	1,500	+α

'26.3期は  
大型M&A等を通じた“脱皮”により  
更なる中計の追加修正を目指す

相続マーケットで成長！

時価総額1,000億円は、  
大型M&Aへの参加資格と考えます。

介護

病院

シルバー

医療

と

エンディング

シナジーで成長!!

長期的成長は、相続サービス、大型M & A で模索

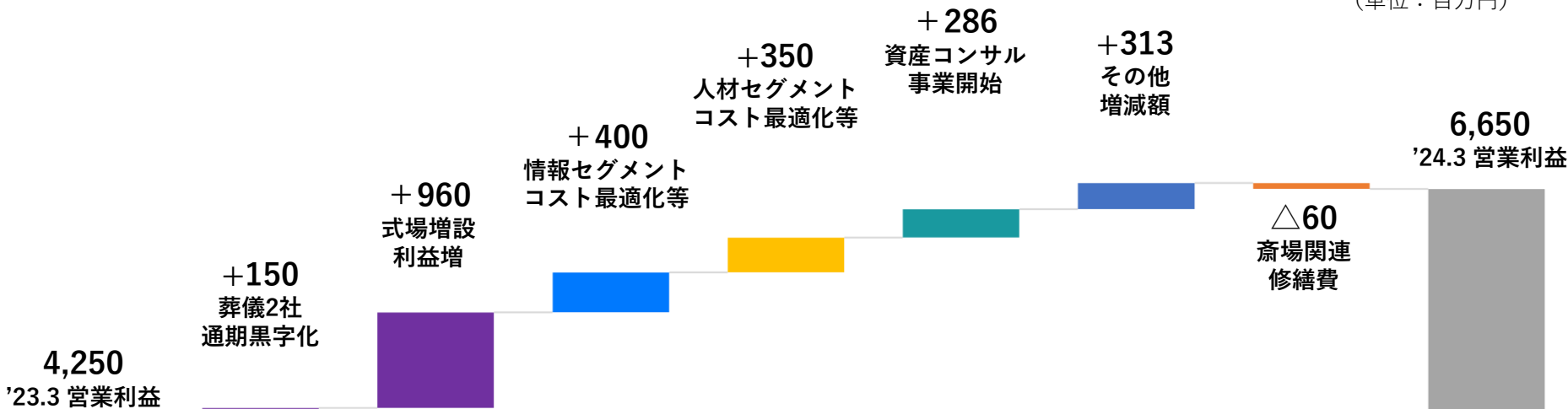
## 3-02 中期経営計画2.0との比較

(単位：百万円)

		2022年3月期 実績 (参考)	2023年3月期 計画	2023年3月期 予想値 (4/12)	2024年3月期 計画	2025年3月期 計画	2026年3月期 計画
中計 2.0	既存事業	4,442	4,730	-	5,517	6,882	
	葬儀	0	40	-	275	485	
	調整額等	▲713	▲970	-	▲1,092	▲1,167	
	計	3,729	3,800	4,250	4,700	6,200	
新中計 3.0	既存事業				6,401	6,991	7,271
	葬儀				150	180	190
	①新葬儀式場				960	1,400	1,400
	調整額等				▲1,147	▲1,101	▲1,151
	小計				6,364	7,470	7,710
	資産コンサル				286	500	1,000
	合計   営業利益	3,729	3,800	4,250	6,650	7,970	8,710
	法人税等	17	740	-	1,940	2,290	2,530
	当期純利益	3,643	2,950	4,000	4,500	5,500	6,000

### 3-03 営業利益増減 | 2023年3月期 ~ 2024年3月期

(単位：百万円)



2023.3月期において **+ 4 5 0** 百万円 **超過達成**見込 (中計 2.0 対比)

2024.3月期には、さらに

**式場増設** + 9 6 0 百万円, **資産コンサルティング事業開始** + 2 8 6 百万円

**情報・人材セグメントのコスト最適化等** + 7 5 0 百万円 などを 上積みし

**営業利益 6,650** 百万円 を目指す

'23.3

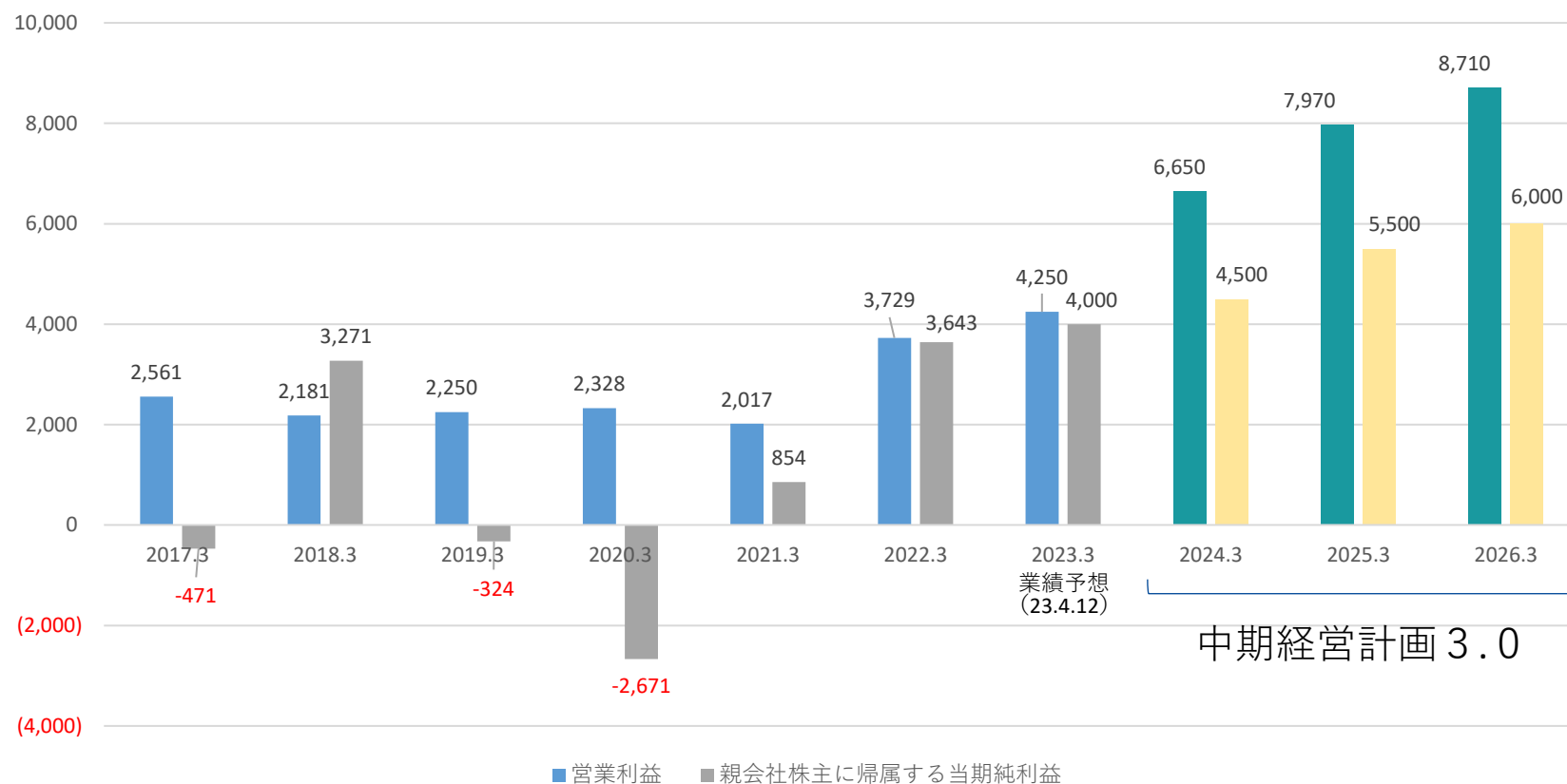
営業利益 + 2,400 百万円  
(増減率 + 56.4%)

'24.3

### 3-04 営業利益・当期純利益 推移

(単位：百万円)

新中計の実行により、安定的かつ継続的な当期純利益を計上



## 3-05 全体資金計画

(単位：百万円)

	'23.3期 見込	'24.3期 計画	'25.3期 計画	'26.3期 計画
営業 C F	5,900	6,500	7,600	8,100
投資 C F	△4,000	700	△1,600	△1,600
財務 C F	△5,400	△7,000	△6,600	△6,000
借入金返済	△10,021	△5,993	△5,112	△4,310
配当	△221	△1,030	△1,500	△1,725
キャッシュ期末残高	18,100	18,300	17,700	18,200



中期経営計画3.0の詳細は  
2023年5月12日に公表予定

本中間報告における内容を更に精査  
検討を重ね、実効性のある計画を立案



A

## Appendix : 会社紹介

## A-01 会社概要

会社名

株式会社広済堂ホールディングス

創業

1949年1月

売上高

35,361百万円  
(2022年3月期)

総資産

68,843百万円  
(2022年12月末)

純資産

39,218百万円  
(2022年12月末)

代表者

代表取締役社長 黒澤洋史

従業員数

1,129人 (連結 | 2022年12月末現在)

市場情報

東京証券取引所プライム市場  
(証券コード：7868)

## A-02 沿革



2021年  
持株会社体制に移行

2022年  
葬儀サービス開始  
(広濟堂ライフウェル  
・グランセレモ東京)

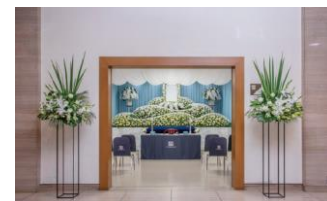
2013年  
ベトナム法人設立  
(海外人材事業開始)

1977年  
求人情報誌創刊  
(人材サービス事業開始)

1984年  
東京博善がグループに加わる  
(エンディング関連事業開始)

1970年  
日本初の  
コンピュータ組版会社設立

1949年  
櫻井膳写堂を創業  
(情報ソリューション事業開始)



**MISSION** 人生100年をもっと豊かに

**VISION** たくさんの“ありがとう”をつくり出す会社

**VALUE** 一人ひとりの挑戦と、組織としての強いつながりで、  
ありがとうに溢れる革新的なサービスを提供します

当社は、社名にある「**広濟**」（**広く社会に貢献する**）を**経営理念**とし、  
社会の発展と人々の豊かな暮らし創りの担い手として、信頼される企業グループを  
目指しております。




# A-04 広濟堂グループ

人生100年を  
もっと豊かに。

## 広濟堂ホールディングス

KOSAIDOはグループの力を結集し、  
「エンディング関連事業」「情報ソリューション事業」  
「人材サービス事業」の3つの事業領域から  
人々の人生100年を総合的に支援。  
より良い環境、豊かな生活、そして希望に満ちた社会を  
この先の未来に実現する革新的な  
サービスの創出にチャレンジします。




### エンディング関連事業

-  東京博善
-  広濟堂ライフウェル
-  グランセレモ東京



[主な事業内容]  
火葬場運営・式場提供  
葬儀サービス  
エンディング関連ビジネス

### 情報ソリューション事業

-  広濟堂ネクスト
-  威海廣濟堂京友包装
-  x-climb



[主な事業内容]  
オフセット印刷(出版・商業)  
新聞印刷  
デジタル印刷  
パッケージ印刷  
IT・デジタルソリューション  
キャンペーンソリューション  
D2Cビジネス支援  
デジタルプロモーション支援  
BPOサービス  
展覧会ビジネス

### 人材サービス事業

-  広濟堂HRソリューションズ
-  広濟堂ビジネスサポート
-  キャリアステーション
-  共同システムサービス
-  ファインズ
-  エヌティ
-  KOSAIDO HR VIETNAM
-  タレントアジア



[主な事業内容]  
求人メディア  
求人媒体代理店  
環境情報誌発行  
フリーペーパーラック取次  
人材派遣  
人材紹介  
人材育成・教育・研修  
RPOサービス  
海外人材サービス  
HR Techサービス

# A-05 広濟堂グループ°SDGs宣言

私たちは「広く社会に貢献する」  
企業理念の実現のための行動を  
起こすべく、

「SDGs」に貢献する

4つのマテリアリティを定めました。

希望ある未来を創造するため、  
社員も含めたステークホルダーの  
皆さまとともに、

“iDO”を社会課題解決の実現という  
“DO”につなげてまいります。



## 経済

広くささえる

サステナブルな経済活動への価値創造  
目まぐるしく変化する世情の中においても、わた  
したちのDNAである「広濟(広く社会に貢献する)」  
の名のもと、サステナブルな経済活動のイノベ  
ーターとなり、既成概念に捉われない柔軟性で共創  
価値を創造します。



## 社会

ともに生きる

公平で多様性のある地域社会の発展  
これからの「人生100年時代」に、誰もが自分  
らしい生き方を選ぶことができるよう、“思い  
やりファースト”で地域社会のファシリテ  
ーターとなり、身も心も自由なライフスタイルを  
実現します。



未来を+にする会社

## 環境

未来をまもる

環境負荷軽減による美しい地球の継承  
次世代を生きる子どもたちや生き物が共存できるよ  
う、地球のライフセーバーとなり、温暖効果ガスの  
削減や生態系の保全に努め、パートナーとの連携で  
更なる環境リスク軽減を目指します。



## 企業文化

笑顔でつながる

透明性と対話のある健全な企業経営  
法令遵守はもとより、誰ひとり取り残さないSDGsの普遍  
的価値に基づく「人権尊重」「ジェンダー平等」「女性  
のエンパワーメント」推進によって、一人ひとりがム  
ードメーカーとなり、働きがいある職場づくりとコミュニ  
ケーションにあふれる企業文化を守り続けます。



## A-06 問い合わせ先

---

本資料 及び その他 I R に関するご意見・ご質問がございましたら  
以下のURLよりお問い合わせください。

問い合わせフォームURL

<https://www.kosaido.co.jp/contact/>



# 人生100年をもっと豊かに

<本資料についてのご注意>

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいて算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性から、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる結果となりうることを、ご承知おき下さい。



KOSAI DO GROUP

広濟堂ホールディングス

<https://www.kosaido.co.jp/>